

広大-熊大合同ゼミ 2011 in 熊本

— Old New-town 問題の発見からコミュニティ再生への道筋 —

日程：9月28日（水）～29日（木） 場所：熊本大学工学部社会環境工学科会議室，およびスタジオ

<プログラム>

■28日（水）

9:00 熊大溝上研究室に集合，武蔵ヶ丘団地の現況紹介（溝上研4年生@スタジオ）

10:00 武蔵ヶ丘団地+αの視察出発（キャンパスバス）

10:30 到着後，視察開始

13:00 視察終了

13:30 帰学（キャンパスバス）後，昼食

14:30 Old New-town 問題とコミュニティ再生セッション（1）

1. 学生によるグループ討議・演習（問題点の発見と対策，研究への発展可能性）@スタジオ
2. 教員・行政・民間によるOld New-town問題，コミュニティ再生の概念整理，研究の報告@会議室（20分発表 10分質疑）
 - 2.1 熊本市の住宅・福祉行政から見た Old New-town 問題
 - 熊本市建築計画課 三池 史子 氏・熊本市高齢介護福祉課 松下 修二郎 氏
 - 2.2 ホンダが考える「パーソナルモビリティと高齢者のQOL」
 - 本田技術研究所未来交通システム研究室 矢口 忠博 氏
 - 2.3 部門横断型まちづくりを支援するための市民生活行動調査の提案
 - 広島大学 張 峻屹 氏
 - 2.4 熊本県における次世代パーソナルモビリティ推進プロジェクト
 - 熊本県商工観光労働部新産業振興局産業支援課 瀧脇 拓之 氏
 - 2.5 オールド・ニュータウンの再生
 - 広島大学 藤原 章正 氏

■29日（木）

10:00 学生演習発表と講評@スタジオ

12:00 昼食

13:00 Old New-town 問題とコミュニティ再生セッション（2）@スタジオ（20分発表 10分質疑）

- ▶ 調査手法：アクティビティダイアリー調査，移動体データ収集の可能性
 - ・広島オールド・ニュータウンの調査・分析フレーム
 - 広島大学 カ石 真 氏
 - ・モンパルトラッカー，GPSマップマッチングなどの走行軌跡追跡システムの実例紹介
 - 熊本大学 高木 良太 氏・溝上 章志 氏
- ▶ 分析手法：ADデータの分析手法，行動予測モデル，社会的排除性分析
 - ・高齢者の時空間上の行動分析
 - 広島大学 カ石 真 氏
 - ・計算幾何学的手法を活用した次善混雑課金の一般的特性の解明
 - 熊本大学 高木 良太 氏・円山 琢也 氏
- ▶ 評価手法：QOL評価，コンパクトシティ施策など
 - ・地方都市における郊外化傾向～札幌広福の経年比較～
 - 広島大学 塚井 誠人 氏
 - ・電動カートを活用した高齢者のQOL評価
 - 日本赤十字社熊本健康管理センター 企画広報課長 川島 英敏 氏
 - ・QOL向上に向けた実践
 - NPO TMN（タウンモービルネットワーク）熊本 栄徳 洋平 氏

16:30 今後のプロジェクトの進め方の検討

17:00 閉会・解散